

# 光恵琴 進昇内幕

## 東前頭14枚目 堂々の快拳

### 県内44年、延岡市内51年ぶり



光恵琴入幕決定を受けて、実家前では延岡後援会によるセレモニーがあった。くす玉開披などで盛大に祝った(きょう、延岡市山下新天街のちゃんこ松恵前)

県内からは44年ぶり、延岡市内からは51年ぶりの幕内力士が誕生した。日本相撲協会はきょう、大相撲7月(名古屋)場所の新番付を発表し、延岡市出身の琴恵光(佐渡ヶ嶽部屋、柏谷充隆さん)は、東十両の枚目から東前頭14枚目に昇進した。延岡市内では祝いの花火、くす玉開披など、後援会関係者やファン、近所の人らが集まって琴恵光の昇進を祝うなど、喜びの朝となった。(3、6、7、8面に関連記事)

琴恵光昇進を受け、卒業した平成19年9月、実家の延岡市山下新天街商店街にある「ちゃんこ松恵」前では昇進を祝うセレモニーがあった。近くで観覧した方も参加してくす玉開披があり、盛大に昇進を祝った。

両親の柏谷正倫さん(54)、多美さん(55)は大勢の人の祝福に笑顔でお礼、セレモニーに参加した人らと共にわが子の出世を喜んでた。

県内出身者の入幕は、昭和19年の元関脇金城(竜鶴町出身)本名金城興徳さん)以来、延岡市からは昭和42年の元小結羽黒岩(台田、柚の木田町出身、本名戸田智次郎さん)以来、51年ぶりという快拳。

琴恵光は岡雷中学校を卒業し、きょうは稽古休み、新番付発送に大忙し。大相撲7月場所(名古屋)場所は7月8日初日。きょうは、会場のドルフィンズアリーナで新番付が配布され、佐渡ヶ嶽部屋では、縁起を担いで先場所勝ち越した関取衆が番付表を取りに向いた。

佐渡ヶ嶽部屋は一富市内に宿舍を構えている。番付発表のあったときは稽古はなく、力士たちは朝から宿舍や随で支援者や後援会への番付表の発送準備に追われた。

琴恵光はきょう午後2時すぎから報道関係のインタビューを受ける予定。優勝の宮崎牛一頭贈ることになれば【河野知事】とてもう

うれしいニュースで、心からお祝い申し上げたい。決して体は大きくはないが、厳しい稽古で着実に力を付け、特に年明けの1、3、5月場所の活躍は素晴らしい。この勢いで幕内でも大活躍を、いずれは優勝をしていきたい。優勝者には毎場所、宮崎牛一頭分を贈っているが、これを宮崎県出身力士に贈呈することができれば、県民にとって大きな誇り。そういう日が来ることをぜひ夢見ながら、しっかりと応援したい。

努力あつての入幕は本当に誇り

【読谷山洋司延岡市長】本市にとって羽黒岩閣以来の快拳というこ

で、市民はもちろん、県民にとってもうれしいニュースになりました。われわれでは計り知れない努力があつてこそ入幕だと思えます。本当に誇りに思います。また、子どもたちにとっても郷土の先輩が頑張っている姿はいろんな意味で励みになると思います。ルックスも爽やかで、延岡のイメージをより良くしたい。たくい貴重な存在に、たくい感を感じています。今後のますますの活躍を期待しています。

2019.6.25